

# 久米肥料株式会社

第三者事業承継後の立て直しに補助金を活用

販売量拡大に向けた仕組み作りと製品開発



## ■事業所データ

事業所名：久米肥料株式会社（久米産業株式会社）

経営者名：寫谷経二さん

住所：〒739-2208 広島県東広島市河内町入野 2130 番地の 4

電話：082-437-1980

URL：<https://www.eco-kume.com/>

事業内容：有機質肥料の製造・販売業（久米肥料）、食品産業廃棄物の収集・運搬及び中間処理業（久米産業）

## ■広島県央商工会からの経営支援内容

小規模事業者持続化補助金の申請補助および経営革新計画の策定支援、各種セミナーの案内といった情報提供、専門家派遣など。

## ■経営体制の一新に伴う事業拡大に向けた取り組み

久米産業は食品系廃棄物を収集処理する会社で、微生物の発酵作用によって一次発酵させた廃棄物に久米肥料がさらに発酵処理を施し、有機肥料として製品化します。

1963年創業の歴史ある会社で、回収先を食品工業系の企業に限定しており、安定した品質の製品を生み出し続けることで高い評価を得てきました。一時経営状態が悪化していましたが、取引先の一つだった現経営者が2012年に事業を承継しました。

事業の改革を進める中で、中小事業者に対して様々な補助制度があることを知り、県央商工会に相談しました。それをきっかけに小規模事業者持続化補助金を活用した既存顧客への販売量拡大や、販路拡大に向けた取り組みを始めました。



※ブローアの空気で発酵が促進され、より熟度の高い肥料に

#### ■既存販売先の販売量確保と販路拡大

補助金によってまず導入したのが、自走式の肥料散布機（マニアスプレッダー）です。土作り用として土壌に肥料を大量投入できるよう、購入した農家に貸し出します。

さらに販路を拡大するため、高品質な日本製肥料の需要が高まる海外輸出を見据えた事業所の改良に着手。含水率の低い製品を開発するためのエアレーション設備（空気を送るブローアとパイプを組み合わせた設備）を導入し、国内向けと並行して出荷作業ができる輸出専用出荷場を整備。化学肥料のように取り扱いがかんたんな粒状の肥料を作るための機材も導入しました。



※自走式散布機で大量の散布も楽に

#### ■ターゲットに届く仕組みや製品作り

補助金申請事業を決める際は、中小企業診断士の専門家派遣を受け、具体的な取り組み内容について相談しました。売り上げをいかに作っていくかについて、それまでなかった視点でアドバイスを受けられました。

マニアスプレッダーは散布の手間が軽減できることから、販売量拡大に大きく貢献。安定受注にも繋がっているため、その後自己資金でもう一台導入しています。

海外向けの輸出品も、品質が高く評価され、ベトナムや中国といった市場で順調に販売量を拡大。新型コロナウイルスの影響拡大前までは、ほぼ目標通りに推移していました。さらに市場ニーズに沿った粒状肥料の製品化に向けて開発を進めており、販売量の回復に努めています。



※同社の圃場で元気に育つ野菜

#### ■マイナスイメージを払拭しモチベーションアップへ

寫谷経二さん「補助金の申請では売り上げアップが必須課題となりますが、それを通して

社会的評価が向上すれば、従業員のモチベーションも必ずアップするはずです。  
当社の事業は SDGs（持続可能な開発目標）、循環経済（circular economy）という時代の  
キーワードに直結しています。地域の皆様への感謝を忘れず『土作りといえば久米肥料』  
と言われる、より確かな存在になっていきたいです。